

DynaAI-Face — マスクのまま、顔で本人確認

マスクをしたまま、 認証される。

「カードが無い」「マスクが外せない」「手袋で触れない」。
医療現場で顔認証が使えなかった理由を、1つずつなくしました。

- 顔の情報は病院の外に出ません。院内だけで動きます。
- 3段階で選べます。まずは入退室から、体調配慮・バイタル取得まで段階導入。

マスクの ままでOK

目と額だけで本人を見分けます。
医療現場を前提に学習済み

カード・パスワード 不要

顔を見るだけでログイン・入室。
紛失も貸し借りもゼロに

院内だけで 動く

インターネット不要。
顔の情報は病院の外に出ません

3段階で 選べる

本人確認 → 体調配慮 →
バイタル取得まで段階拡張

医療現場で変わること

1秒以内

業務システムのログイン時間

ゼロ

ICカードの紛失・貸し借りトラブル

完全非接触

手指消毒後でも何にも触らない

まずは30分のオンライン説明会から。

マスクをしたままで認識する様子を、画面を見ながらご説明します。

■ medical-all@dynaxt.co.jp

■ <https://dynaxt.co.jp>

お問い合わせはこちら

DynaAI-Face とは

顔を見るだけで本人確認・体調配慮・バイタル取得までを1台でまかなう、院内向けのシステムです。マスクをしたままでも本人を見分けます。顔の情報は病院の外に出ません。必要な機能だけ段階的に導入できます。

今までの顔認証との違い

観点	今までの顔認証	DynaAI-Face
マスク着用時	認識できない／大きく精度が落ちる	マスクのまま本人を見分ける
本人確認の手段	カード・パスワード・指紋	顔を見るだけ。カードも触らない
手袋・手指消毒後	カードや画面に触れる必要あり	完全に非接触で動く
情報の置き場所	クラウドに画像を送ることも	院内だけで完結。顔は外に出ない
できること	本人確認のみ	本人確認 + 体調配慮 + バイタル取得
導入の段階	一括導入が前提	必要な機能だけ段階的に追加

3段階で選べる、段階導入

Lv1

顔で本人確認（入退室・ログイン）

マスクのまま、カルテや薬品庫を開けます。席に座るだけでログイン、離席で自動ロック

使いどころ

業務システム／
麻薬金庫／
手術室／病棟PC

▼ 必要に応じて追加

Lv2

体調に合わせて画面を自動で変える

目を細めたら文字が大きく。疲れたサインで休憩提案。お年寄りにやさしい配色へ自動切替

使いどころ

受付機／
高齢者向け画面
／長時間PC業務

▼ 必要に応じて追加

Lv3

カメラで心拍・呼吸を読み取る

受付で待っている間に、体調のサインを自動で確認。触らず、貼らず、カメラだけで

使いどころ

医院の受付／
待合室／
介護施設

ポイント:まずはLv1（入退室・ログイン）から。後からLv2・Lv3を追加できます。ぜんぶ院内のパソコンで動くので、顔の情報は院外に出ません。Lv3は医療機器ではありません。あくまで **参考のための数字** としてお見せします。

医療現場での使いどころ

① 業務システムにマスクのままログイン

席に座るだけで本人確認。離席すれば自動ログオフ。
カードも指紋もいりません

② 麻薬金庫・薬品庫の2人確認

2人の顔で同時に確認。誰がいつ開けたかも自動で記録されます

③ 手術室の入室管理

手指消毒のあと、何にも触らずに入室。完全に非接触です

④ 受付の気配り（Lv2を追加すると）

お年寄りが目を細めたら文字を大きく。疲れた様子なら配色をやさしく

安心して使えるしくみ

- **院内だけで完結** — 顔の情報も体調の情報も、病院の外に一切出ません
- **顔写真は保存しません** — 顔の特徴だけを暗号化して保存します
- 使える人・使えない人を病院／部署／役職ごとに細かく設定できます
- いつ誰が開けたか、後からすべて確認できます
- 医療情報を扱う病院のルール（3省2ガイドライン）に沿った運用が可能